

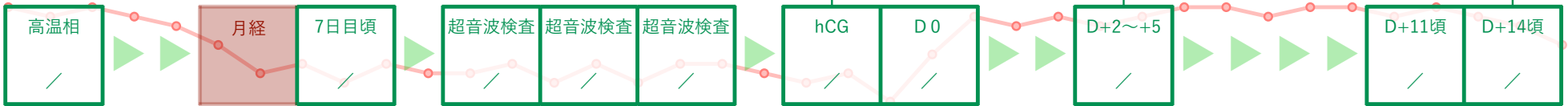
[保険 / 自費]

※ 今回の治療を計画した時点で43歳未満であれば保険適用です（前回保険適用で全胚凍結した後の初回の凍結胚移植を除きます）。
 ※ 保険適用の治療周期では先進医療ではない保険適用外の検査や治療（PRP療法、PGT、タクロリムス療法など）を併用できません。

1 GnRHアゴニストで
卵巣を休止させる

- 高温相 7日目頃からGnRHアゴニストを使います
- **ブセレリン**（1日3回両鼻に噴霧）
- 妊娠判定まで継続するので、なくなりそうな場合はお知らせください

GnRHアゴニスト



ピル

□ 月経不順の場合は**プラノバル**を10日間内服して高温相の状態を作り、月経を起こさせます
 [/ ~ /]

FSH/hMG

- 月経 7日目頃から7日間**FSH/hMG**を自己注射します
 - **ゴナールエフベン** 初回150単位、2回目以降125単位
 - **ゴナールエフベン** [] 単位
 - **レコベルペン** [] μg
 - **hMG** [] 単位
- **ブセレリン**を1日2回に減量します
- 8日目以降は数日ごとに超音波検査を行い卵胞径が約18mmになるまで**FSH/hMG**を継続します

ロング法

2 FSH/hMGで卵胞を
約18mmまで育てる

3 hCGで卵を
成熟させる

- **オビドレル**を21:00（時間厳守）に自己注射します
- OHSS回避のため全胚凍結する場合は**カベルゴリン**を夜から8日間内服してください

hCG

4 採卵・採精

5 胚移植

- 食事を普通にとり、ナプキン、生理用ショーツを持参ください
- 【手順】 胚培養士の説明→着替え→胚移植→希望者は病室で静養
- ※ 胚移植後に月経様の出血があっても着床していることがあるので、薬を使い続けて予定どおりに来院してください

6 着床
確認

7 妊娠
判定

- 採血して妊娠を判定します
- **GnRHアゴニスト**と**プロゲステロン**を終了します

□ 月・水・木：14:00来院
 □ 火・金・土：11:30来院

※ 受付終了1時間以上前に来院ください

プロゲステロン

- 朝食を軽くとり、ナプキン、生理用ショーツを持参し、8:00に入院入口のインターホンで来院を伝えて2階ナースステーションにお越しください
- 【手順】 着替え→鎮痛坐剤を挿入→採血と点滴→採卵→病室で静養→昼頃に胚培養士が説明
- 夜から**プロゲステロン**を使います
 - **ワンクリノン腔用ゲル**（1日1回）腔内に挿入
 - カテーテルが入りづらい方は頸管拡張を行います

- 採血して着床を確認します

※ 妊娠しなかった場合、GnRHアゴニストの影響で排卵が遅れるため、次回の月経はいつもより1～2週間ほど遅れて始まります

